

# JUNGIDO

滋賀県立膳所高等学校同窓会報 遵義堂

発行人／大崎悦男  
発行所／滋賀県立膳所高等学校同窓会  
大津市膳所 2-11-1  
TEL077-524-4295・FAX077-524-1732  
発行日／平成 30 年 4 月 20 日  
編集人／広報部会・卯田重子  
印刷／株式会社 サンエムカラー

URL:http://www.dosokai.link/zezekoukou/  
E-mail:zeze-h-dousokai@poem.ocn.ne.jp



## VOL.35

1898 = 高 = 2018

|                         |     |
|-------------------------|-----|
| 母校創立120周年!!             | 1   |
| 創立120周年記念同窓会の<br>お知らせ   | 2   |
| 創立120周年記念事業記念式典に<br>向けて | 2   |
| お礼のこトバ                  | 2   |
| 石鹿文庫                    | 3   |
| 班活動の今昔                  | 3   |
| 周年同窓会報告                 | 4・5 |
| 記念同窓会報告                 | 5・6 |
| 周年記念同窓会 予告              | 6   |
| 同窓会事業のご案内・報告            | 6   |
| 会務・会計報告 総会提出議案          | 7   |
| 膳所高NEWS                 | 8   |

### 第90回選抜高校野球大会 21世紀枠で出場



選手 27 名の入場行進 プラカードはデータ班



バス 36 台でアルプス席 5,500 が埋まる応援団

相手校 日本航空石川に対し善戦

## 母校創立120周年!! 野球班甲子園出場で幕開け

寄付金控除対象募金等、更なるご理解とご協力を・・・

膳所高等学校同窓会長 大崎悦男

会員の皆さまにおかれましては、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は、本会活動に格別のご理解とご協力を賜り、また創立120周年の母校膳所高等学校に對しまして、何かとご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、母校野球班が、第90回記念選抜高校野球大会に21世紀枠で選ばれ、まさに「創立120周年の年、野球班甲子園出場開幕」の感がしました。昭和9年(1934年)の選抜で県内の学校で初めて甲子園の土を踏んだ純白の「Z」の伝統のユニホームが、40年(選抜では59年)ぶりに甲子園で大活躍してくれました。創立120周年を迎える古豪の復活ということで全国に注目され、創立120周年を迎える母校の歴史や、「超」が付く進学校としてマスコミ等で全国に紹介されました。

母校は明治31年(1898年)4月10日に滋賀県第二尋常中学校として設立されたこと。創立期は師弟共に力強い意欲に燃え、学力と体力の錬磨に励み、文武両道・質実剛健の校風を築いてきたこと。そして自主自律・文武両道の校風の下、県内屈指の進学校としての地位を確立してきたこと等々。そんな中、創立80周年の年に同窓会の記念事業で「生徒会クラブハウス」が建設されましたが、この年に夏の甲子園に野球班が出場を果たしています。それから雌伏40年、念願の夢が創立120周年の節目の年に実現したことになります。100周年には、野球場を含む第2グラウンドが整備され「トレーニングハウス」が建設されています。今回の榮譽も、生徒たちの努力はもちろんですが、同窓会をはじめ関係各位の募金等によるご援助による教育設備の充実も大きな力になっていると思われ

ます。100周年以後、校舎の全面新築・通学区が全県一区に・国のスーパーサイエンスハイ

スクール(SH)に指定されたこと等、母校にとつてハード・ソフト両面で大変大きな出来事がありました。15年近く経ちましたが母校は、ますます実績を上げ、今回の甲子園出場だけでなく、ラグビー班等の体育班や文化班、また個人で全国大会や国際大会にも出場する等、新しい伝統を創りあげるべく進化発展しています。創設期の文武両道・質実剛健の校風は、「遵義・力行」の校訓の下「自主自律」「文武両道」を精神的支柱とした校風として脈々と引き継がれています。

その母校が、今年創立120周年を迎えます。そのため、昨年度から記念事業のための募金をお願いしていますが今年度になって、記念事業の教育環境整備事業の内容が各教室への電子黒板機能内蔵プロジェクターの設置と決まり、これについて県から「寄付受納予定証明書」を受け、この募金が大阪国税局から寄附金控除の対象にして頂けました。こうしたことから今回「寄付金控除対象募金」が可能となりました。今年度は甲子園出場につきましてもご支援をお願いしたところで、今までの募金に合わせて誠に恐縮でございますが、今後の募金活動に對しまして、なにとぞご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今回の甲子園は「地域の進学伝統校としての実績」等、野球以外の要素も加味した21世紀枠での出場ということで、「膳所高校」が評価されたとも言えます。これは「創立120周年・大還暦の記念事業に花を添えるもの」で、予定されている各種事業の開幕を飾るものであり、同窓会としても大変名譽でうれしい出来事です。私たちはこれを誇りに思い、これを機に母校の更なる飛躍を願い、学年を超えた全同窓生の更なる結束を図ろうではありませんか。

# 創立二百二十周年記念同窓会 総会のお知らせ

## 本年度の総会は5月20日(日)

創立120周年記念同窓会 総会を左記の要領により開催いたします。  
本年、滋賀県立膳所高等学校は創立120周年を迎えます。それを祝い、総会後に記念祝賀会を開催します。会員の皆様からの御出席をお願いいたします。

### 【創立120周年記念同窓会 総会】

日時 平成30年5月20日(日) 午前9時30分  
(午前9時 受付開始)  
場所 びわ湖大津プリンスホテル 2階「淡海」  
大津市におの浜4丁目7番7号  
電話 077-(521) 1111

### ●感謝状贈呈 本校教職10年勤務者

●議事 一、平成29年度会計報告・部会報告  
一、平成29年度会計報告 会計監査報告  
一、平成30年度事業計画・予算審議  
一、その他

### ●講演 『してさしあげる幸せ』の実践』

講師 後藤 敬一氏  
(膳所高24回 昭和51年卒)

### 講師のプロフィール



昭和33年 大阪生まれ  
昭和46年 大津市立石山小学校卒業  
昭和51年 滋賀県立膳所高等学校卒業  
昭和55年 静岡大学卒業  
株式会社ローランド入社

昭和59年 滋賀ダイハツ販売(株) 入社  
平成6年 36歳で滋賀ダイハツ販売(株) 6代目代表取締役社長就任

イエローハットの創業者である難山秀三郎氏に師事し、掃除の奥義を学び社員にもその心を伝える。現在は、「日本を美しくする会 滋賀掃除に学ぶ会」代表世話人としても活躍

### 講演の主旨

企業が出来るCSRの取り組みについて具体例をあげて説明します。

### ●記念祝賀会 (総会終了後 午後12時10分より)

・創立120周年事業報告(記念歌、キャッチフレーズ披露)  
・目録贈呈  
・来賓祝辞  
・アトラクション  
「フライングスニーカー」による生演奏  
「レイクスターズチアリーダー」によるチアリーダーング  
記念祝賀会に出席していただける方には、当日受付時に記念祝賀会費8,000円をいただきます。出席を申し込み

れ、急用等によりやむを得ず欠席される方は早急に連絡をお願いいたします。無断および当日連絡の欠席の場合は、会費を申し受けます。  
なお、同封のハガキは総会・祝賀会に欠席の方、住所等に変更のない方はハガキ送付の必要はありません。ご注意ください。

## 創立120周年記念事業 記念式典に向けて

式典実行部会長 加藤 徳彦

同窓会会員および関係の皆さまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今年11月9日(金)、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール大ホールにて創立120周年を祝う記念式典が行われます。これに先立ち、式典部会としてキャッチフレーズと記念歌を作成しました。経過は次のとおりです。

### 学び感動絆がけ 膳所高校の大遷移

一、前賢の志を継ぎ、膳所の旗揚げ、風を呼ぶ  
展け行く湖、陽の光  
山の端照らす 月光は  
久遠の理想、追い続け  
海む心を 包み込む

二、遠き道の一端、確かめて  
夕立の空、遠り替える  
繋がる道の 一歩目は  
師友の仁が 後ろ盾  
夢はひたぶる いつの日か  
鳴う光風 追い越せる

切として募集を開始いたしました。ところが、残念ながら数点しか集まらず、選考できないとの判断からやむを得ずさらに1ヶ月延長し、10月2日に打ち切りしました。歌詞は、びわ湖ホール館長の山中隆様を中心とする選考委員会にて選考し、部会で決めたキャッチフレーズとともに実行委員会承認いただきました。決定したのは、キャッチフレーズは、吉川航式さん(2年)、歌詞は越智さゆりさん(3年)の作品です。

キャッチフレーズのデザインは書道班に依頼し、班長の本田沙也花さん(2年)の作品を選び、作曲は本校の卒業生池内奏音さん(平成28年 第67回卒)に依頼しました。その後12月の2学期終業式に在校生にキャッチフレーズと歌詞を披露しました。1月野球部の全国選抜大会の出場の朗報が届いた頃、ちょうど曲が完成し、応援歌として甲子園に使える目途がつかまりました。グッドタイミングでした。表彰は記念式典で行う予定です。

本校に関する歌については、過去、道遥歌をはじめ多く作られたようです。現在においては学校では歌い継がれてはいませんが、創立120周年の記念に産声を上げたこの歌は、甲子園に響き渡り、そして今後も歌い継がれていけばうれしいと思っています。

## 「創立120周年記念教育環境整備事業」決定 「二般募金」に引き続き 「教育環境整備募金」(「寄付金控除対象募金」) のお願い

「電子黒板機能内蔵プロジェクター一式 33台」寄贈  
教育環境整備募金目標額 1653万8000円

昨年2月に同窓会理事会において承認を頂き、「創立120周年記念事業実行委員会」として募金活動を開始させていただきました。募金のお願いをお届けしてから早速多くの同窓生の皆様から続々と募金をしていただいております。紙面を借りまして御礼を申し上げます。ありがとうございます。

(平成30年1月31日現在、1341口、1486万4051円の募金を頂いております。)

現在までお願いしております募金は、「二般募金」と申しまして、記念式典、記念誌、記念品及び事務経費等、「120周年」を記念する様々な費用として使われます(これは領収書を税務署に提出されましても寄付金控除の対象とはなりません)。この一般募金は、1600万円を目標に現在も募金活動を続けております。

一般募金活動の開始後、昨年6月の第2回実行委員会で記念事業部会より「創立120周年記念教育環境整備事業」として「電子黒板機能内蔵プロジェクター一式33台」を学校に寄贈することが提案され承認されました。これは、地方公共団体である滋賀県に対する寄付に該当するため、県より寄付採納の許可を得、大阪国税局に寄付金控除に該当することを確認し、この寄付金控除措置が受けられることとなりました。この募金の領収書を添えて確定申告されますと地方公共団体(滋賀県)に対する寄付金として税務上の取り扱い(個人が支払った場合、所得税における所得額よりの寄付金控除。法人が支払った場合、法人税における全額損金算入される寄付金)を受けられます。

そして今回、個人が支払った場合は、地方公共団体(滋賀県)に対する寄付金に該当する旨の確認を受けていただきますので、ふるさと納税に係る控除として一定の上限まで、所得税・個人住民税からの控除(総務省ホームページ「ふるさと納税のしくみ」参照)を受けられます。この「教育環境整備募金」(「寄付金控除対象募金」)は、1653万8000円を目標とし、目標に達し次第募金を停止させていただきます。これは、寄付金控除の対象となるため、国税局の指導上こうせざるを得ません。その代わりに、「二般募金」は、1600万円を超えても制限がありませんので、「教育環境整備募金」で上限を超えた分につきましては、「二般募金」に繰り入れさせていただきます。二般募金の状況も考慮して、創立120周年の記念すべき年にふさわしい事業の目的達成に向けて引き続き努力してまいります。

つきましては、出費多端の折ではございますが、膳所高校のさらなる発展のため、「二般募金」に引き続き「教育環境整備募金」の趣旨にご賛同をいただき、募金活動にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

滋賀県立膳所高等学校創立120周年記念事業実行委員会

同窓会 会長 大崎悦男  
同窓会 財務部長 川戸良幸

## お礼のことば



前校長

川上 昌道

膳所高等学校を最後に、3月末日をもって退職いたしました。在職期間中は、大崎会長はじめ同窓会の皆様から温かいご支援、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

本年は本校が創立120周年を迎える記念すべき年であり、校長として着任した平成28年4月より、創立120周年記念事業に向けて取り組んでまいりました。11月9日(金)に予定しております記念式典や記念誌編集、校内環境整備に係る記念事業については、同窓会、父母教師の会をはじめ多くの皆様のお力添えにより、校内において準備は着実に進んでおります。

顧みますと、95%を超える加入率を誇る班活動、文部科学省から指定を受けたSSH事業、生徒の自主自律を尊ぶ湖風祭や修学旅行など、同窓会から「班活動奨励金」「学校助成金」のご支援をいただき、本校を特色づける取り組みは年毎に充実してまいりました。自由と責任を重んじる伝統は先輩から引き継がれ、一方で、生徒たちは鍛えられ逞しく成長し、新校舎に装いを改めたキャンパスは活気溢れ、私の高校時代とは異なる輝きを放っています。生徒たちは高い志をもって高校生活に臨み、班活動では、昨年度は生物班、ヨット班の世界大会出場をはじめ、全国大会に16班が出場するなど、素晴らしい成果を上げています。班活動引退後も、最後まで諦めず懸命に努力を重ね、平成29年3月の進路実績は過去最高ともいえる結果を残してくれました。

創立以来「文武両道」「自主自律」の校風が息づくなか、「21世紀枠」として野球部が今春の選抜大会において59年ぶりに選出されたことは、野球部の活躍はもとより膳所高校の教育活動全体が評価されたことであり、嬉しく思うところです。選考においては厳しい結果も予想していましたが、本校の歴史と伝統、長きにわたり多くの同窓生の皆様が広く社会において活躍されてきたことが甲子園出場に繋がったものと考えています。

私自身、教職生活の最後を大過なく母校の膳所高校で過ごせたことは幸せなこと、多くの皆様のご支援ご厚情によるものであり、感謝の念に堪えません。

最後に、熱い思いで教育にあたります本校の先生方と何事にも努力を惜しまず全力で取り組んでいる生徒たちに敬意を表し、膳所高校の更なる発展と同窓会員の皆様方のご健勝を祈念して、お礼の言葉といたします。

# 班活動の今昔

## ●生物班

### 「国際生物学オリンピック2017銀メダル」

生物班参与 真 鍋 健

今春3月に理数科を卒業した佐藤源氣君は、生物班の研究で三度の全国大会に出場し、個人でもイギリスで行われた国際生物学オリンピック2017で日本代表に選出され、銀メダルを獲得するなど、高校生活の中で大きな活躍を成し遂げました。ここでは、生物班参与としてそんな彼の魅力について語ってみたいと思います。

彼が生物班を訪れたのは、2015年4月。当時4名の小規模なクラブに唯一の新入班員でした。この年の夏には全国高等学校総合文化祭が地元滋賀県で行われ、本校生物班は自然科学部門において巡検を担当し、全国から100名の生徒を相手に学習船で琵琶湖のプラントンを観察する実習を行いました。彼は、一年生ながら精力的な活動で、巡検の成功だけでなく研究活動にも大きく貢献しました。その後も琵琶湖のプラントンの研究を熱心に牽引し、2016年の広島大会、2017年の宮城大会への出場へと導いてくれました。

生物班の後輩達にとって、佐藤君は憧れであり、尊敬する存在です。その彼を囲んで卒業式の日、お祝いのセレモニーを行い、後輩一人ひとりが佐藤君の魅力について各自の想いを語りました。そのなかで特に印象的だったことがあります。後輩達が尊敬しているのは、全国大会出場やオリンピック出場という成果に対する部分だけでなく、彼の情熱を持ち、取り組む姿勢・態度であったことです。後輩達は、「自分もとことん打ち込めるものに出会いたい」、「今取り組んでいるテーマをさらに磨いて魅力あるものにしていきたい」と語っています。彼には、大学への進学後もその姿勢を大切に、一層活躍して欲しいと思います。

最後に同窓生の皆様へ。このように生徒達は充実した高校生活を目指しており、それには自分が夢中になって取り組めるものが欠かせないと思っています。そしてその原石は自分で見つけるものであり、自分で磨きあげて価値あるものにするべきだと知っています。ただ、その気づきや磨き方はひとりではなかなか分かるものではありません。ですからどうぞこれからも先輩として生徒達の道しるべとなつていただければ幸いです。

(写真左が佐藤源氣君)



## ●科学の甲子園

理数科主任 西村直樹

第7回科学の甲子園全国大会に7年連続出場する。参加するのは2年生6名に1年生2名の8名で、チーム名は「Infinity」である。滋賀県予選会に出場した2年生の名前の頭文字から彼らが名づけた。大会は平成30年3月16日～19日の日程でソニックシティ（埼玉県さいたま市）において開催される。これまでの主な成績を挙げると平成22年度、科学の甲子園全国大会の前身の大会である兵庫近畿科学の甲子園大会で優勝、平成23年度、第1回科学の甲子園全国大会は総合第2位、平成25年度、第3回科学の甲子園全国大会は総合3位で、特に筆記部門では1位という成績を収めている。この大会は科学好きな高校生が集い、競い合い、活躍できる場であり、日本代表として国際化学オリンピック、国際物理オリンピック、国際生物学オリンピックに出場し、銀メダルを獲得した生徒も参加している。また、この大会は個の力だけでなく、チームとして課題に取り組むことに良さがあり、これこそ膳所高校生の得意とするところである。このことは「膳所高校の生徒さんは、みんなで協力して楽しそうに問題に取り組んでおられますね」と大会の役員の方から言っていたに現れていることからもわかり、事実、前述したような結果に現れている。結果として現れなかった年もあるが、いつもお互いの才能を認め合い、信頼して課題や問題に取り組んでいる様子に金メダルを贈りたい。

彼らのチーム名はどのような意図で名づけたかはわからないが、応援していただいている皆さんに、いい結果を「Infinity（報告）」したいという気持ちの表れだと思う。



## ●ヨット班

### 「ジュニアオリンピックカップ女子優勝」

二年 須田 英実子

2017年5月、佐賀県唐津市で開催されたレーザー4.7級ヨット（二人乗り）のジュニアオリンピックカップにおいて女子優勝し、ユース（18才以下）世界選手権の切符を手に入れました。

私は、小4からオプティミスト級ヨットをはじめ、中学時代は、アジア・オセアニア選手権の日本代表として、二度の海外遠征の経験があります。高校になったら、より大きな艇種で、国際大会に行きたいと思っていましたが、まさか、高1で代表選手になれるとは思っていませんでした。というのも、中3、6月の海外遠征を最後に、受験勉強のためヨットから離れており、受験終了後二ヶ月間の練習では、ヨットの感覚を取り戻せはしたものの、一回り大きなレーザー4.7級のセールパワーへの対応や操船技術の習得は全くできていなかったからです。でも、小中学時代にレースで何度も訪れていた唐津の海と風が

私に味方してくれ、他の選手より少しだけ早くゴールできるコースを走ることができました。

ベルギーで開催されたユース世界選手権では、決勝レース（上位半分）に入ることを目指しました。どうにか決勝レースには残ったものの、他国の選手に対して技術的にも体力的にも自分には足りないことが多くあることに気づかされました。

愛媛国体の選手に指定して頂いていたので、帰国後は、琵琶湖や他の水域で練習を重ね、少年女子三位に入賞することができました。滋賀県の監督として帯同いただいたヨット班の山下先生と入賞を喜ぶことができました。

去年は運に助けられた一年でしたが、今年はさらに練習、体力アップを図り、実力でさらに上の成績を狙いたいと思っています。（なかなか難しいのですが）文武両道で頑張ります。応援、よろしく願います。



## ●ラグビー班

### 「全国大会（アシックスカップ2017）7人制初出場」

ラグビー班顧問 奥村 亮

ラグビー班は、班員18名・マネージャー2名の計20名で、火曜日を除く週6日、校舎奥の第1グラウンドにて活動しております。ラグビーは1チーム15人でプレーする「ユニオン」と、7人でプレーする「セブンズ」の2種目があります。昔から知名度が高かったのは「ユニオン」で、W杯や高校の全国大会（花園）などがよく知られています。一方で、最近、知名度を急速に高めてきたのが「セブンズ」です。要因はオリンピックの正式種目に認められたことでしょう。この「セブンズ」で、ラグビー班は昨年、全国大会（アシックスカップ2017）に出場することができました。県大会で初優勝を飾り、つかんだ切符でした。予選プールの高松北高校戦では、班員の日々の努力が実り、見事勝利を挙げることができました。初出場でつかんだ「全国大会初勝利」は、班にとって、とても大きな自信となりました。一方、大差で敗れる試合も経験したことで、全国の厚い壁・レベルの高さも感じたと、総じて良い機会となりました。

現チームは「ユニオン」・「セブンズ」の2種目で全国大会へ出場することを目標に掲げています。早速、4月には「セブンズ」の県大会が控えておりますので、それに向けて日々の練習に励み、2連覇を果たしたいと思えます。また、16年ぶりの「花園」出場に向けて、多くの新入生が「仲間」になってくれることを、心待ちにしています。今後とも応援よろしくお願いします。



## ●卓球班

### 膳所高校卓球同友会創立30周年記念式典

私たち卓球班は、1987年に現役生への支援を目的とする「膳所高校同友会」を発足させ、以来毎年OBと現役生との交流試合を通じてOB同士の親睦もはかっています。2017年8月19日、卓球班OBと現役生55名の出席のもと、同友会創立30周年記念式典を雄琴温泉「里山昔話雄山荘」に於いて開催しました。

岡見要会長（昭和44年卒）の開会の挨拶の後、母校の松宮恵教頭から心温まる祝辞を賜り、人見陽一名誉会長（昭和31年卒）「人見先輩は昨年12月に逝去され衷心よりご冥福をお祈りします」が卓球班の歴史を熱く語られ、卓球班顧問の西村直樹先生から昨今の母校の戦歴、現役生の様子などについて詳しく話を伺った。

毎回記念式典には、会場に卓球台を持ち込んでエキシビジョンマッチを行うことが恒例になっている。今回元卓球女子日本代表の石垣優香選手を招待し、また一昨年まで卓球女子日本代表監督として二度のオリンピックでメダルをもたらした村上恭和氏にも出席して頂いた。

高らかな乾杯の後、各々の自己紹介の最後に今村宏先輩（昭和26年卒）が、昭和20年代当時の思い出話を噛みしめるような口調で語られた。豪華賞品があたる卓球ウルトラクイズを楽しみ、母校の校歌を大声で合唱し一次会が閉会となった。

場所を変えた二次会では「卓球班の記録やOBたちの記憶を遺していきたい」という提案があり、卓球班70年史を編纂する事業を2020年までに行うこととなった。

（姜（姜山）永根（昭和50年卒）



## 膳所高校卒業寄贈図書「石鹿文庫」

著者名 書名・巻次（版次）

山下 克巳 著 ●米寿の万華鏡  
奥野 文夫 著 ●現役社長・役員年金  
社長・役員に説明する人事・総務・工業必携

## 卒業生文庫「石鹿文庫」へご寄贈を。

「石鹿文庫」は同窓生の著書を集めた文庫です。

## 「会員名簿」の発行について

同窓会では、会員相互の交流・親交を深めるため、5年ごとに会員名簿を発行しています。今年度、平成30年10月に発行します。1冊4,000円でA4版になります。購入のご協力をお願いします。

# 周年同窓会

## 70周年記念同窓会

(膳所中46回 昭和23・24年卒業)

私達膳所中46回(旧)膳所高校卒業の同級生は、平成29年11月17日(金)にホテルボストンプラザ草津において「卒業70周年記念同窓会並びに米寿お祝い会」を開催した。生存者96名に夫婦同伴大歓迎と銘打って案内したところ、27名(内夫婦2名)の同窓から出席予定の回答があり、当日緊急の欠席があったため、26名の出席者を得て成功裡に終えることが出来た。



名司会者木下三郎君の開会の挨拶で始まり、5名の物故者の追悼を行い、世話人代表の杉江良太君から平成22年11月10日琵琶湖ホテルで開催された「膳所中46回旧膳所高校卒業最終記念同窓会」で当時の世話人から同級会はこれで終わりにしたいとの提案がなされ、以後同級会が開催されなかった関係で、今回本同窓会を開催するに至った経緯が報告された。

ついで、膳所高校同窓会会長大崎悦男氏及びボストンプラザ南社長からのメッセージの披露があり、今回は特に70周年並びに米寿のお祝い会という事からピアノ奏者久野村優子氏をお迎えして、ピアノ演奏のもと膳所中学校歌「草成す城はー」を青春時代を想起しながら一同声高らかに斉唱を行った。その後井上輝重君の音頭の乾杯で祝宴が始まり、トッパを切って菅原聡君が中学時代の思い出話を披露され、お互いに久方振りに出逢った旧友との歓談で和やかな時間が過ぎて行った。

最後に世話人今林耕一郎君から開会の挨拶と今後の同窓会について提案がなされ、2年後の卒寿を祝って同窓会を開催する事を満場一致で決め、お互い別れを惜しみ乍ら帰路についた。(杉江 良太)

## 60周年記念同窓会

(膳所高5回 昭和32年卒業)

前略 去る10月10日(火)開催の昭和32年膳所高校第5回卒業生による60周年記念同窓会に73名の方々に出席いただき誠に有り難うございました。久々に顔を合わせる方も多く話が大変はずみ盛会となりました。しかも他の学年同窓会では行われていないと思われるプロのシンガーソングライターをお招きし、楽しい歌を聞かせていただきながら食事をするという趣向は皆さん如何だったでしょうか。お楽しみ頂けた



でしょうか。最後になりましたが、種々手違いもあったかとは存じますが、ご容赦頂き皆様のご健勝とご多幸をお祈りしお礼のご挨拶といたします。(小西英太郎)

## 55周年記念同窓会

(膳所高10回 昭和37年卒業)

55周年の記念同窓会を、平成29年10月21日(土) 12時から、琵琶湖ホテル琵琶湖の間において、出席者90名で開催いたしました。開会前にクラス毎で記念写真を撮り、佐川さんの司会で校歌斉唱、物故者に対して黙祷を捧げ、開会となりました。開宴の前に遠方から出席してくられた同窓生(遠くはドイツから)による鏡開きがあり、メンバーを代表して、関東膳所高校



会長・長崎君の乾杯発声で、和やかに宴会へと進みました。3年間の恩師の紹介が高橋君からあり、当時のアルバム委員であった西谷君の説明で、卒業アルバムから90枚ほど写真を抜粋して、スクリーンに大写しで大変盛り上がりしました。中でも、当時の憧れの的であった野球部や体操部の活動状況には当時の活躍が蘇り、また、我々が木造校舎での最後の生徒であり、木造校舎から鉄筋コンクリート造への校舎の引越しや、膳所本町駅からの通学風景、運動会の応援合戦・・・この企画は大変好評でした。そして、昭和37年の世相が発表され、東京が世界初の1000万都市となったことや、オリンピック景気がスタートした年でもあり、ヒット曲では「いつでも夢を」などがあり、そのような時代に卒業したのだと、改めて懐かしく思い出しました。最後には全員で輪になり、琵琶湖周航の歌を歌い、川越君の中締め挨拶で、盛大に終了いたしました。(白井 勝好)

## 50周年記念同窓会

(膳所高15回 昭和42年卒業)

2017年9月10日(日)午後1時30分、びわ湖大津プリンスホテルにて昭和42年3月卒の同窓会が、170名余りと多くの皆さんの参加を得て開催することができました。

卒業して50年、5年に1回開催していますが、早いもので今回で8回目となりました。開会に先立ち、物故者39人を偲び全員で黙とうを実施。続いて、開会挨拶と乾杯の後、約3時間の歓談が始まりました。最初に膳所高創立120周年記念事業の紹介と寄付の依頼が



同窓会事務局からありました。50周年の今回は、同窓会の皆さんが順次「古希」を迎えていく記念すべき節目の1年となるため、これからの私達の充実する時間の再発見の場となるよう計画をしました。特に、同窓会の中でも、様々な同期の多くの集まりがあり、活動の紹介をしました。関東膳所高校、Z42年ゴルフ同好会、江若会、湖南会、守山会など楽しい報告でした。

また、参加できなかった人からの、メッセージを披露するとともに、三品昌美さんの紫綬褒章、日本学士院賞の報告と、記念同窓会で夫婦で出席した4組の皆さんの紹介もありました。16時30分頃から2次会を38階のトップオブオオツに移し実施しました。久しぶりの友との語らい、旧交を温めながら歓談して

## 40周年記念同窓会

(膳所高25回 昭和52年卒業)

2017年12月29日 私たち昭和52年卒業生114名と恩師4名は、京都ホテルオークラに4年ぶりに集いました。

卒業アルバム年表には、ウオーターゲート事件、エリザベス女王来日、モントリオール五輪開催、五つ子誕生などの出来事が記載されています。あの頃の紅顔の美(?)少年少女たちもはや還暦を目前にして、孫を持つような年代となり、40年の年月を経て各々様々な経験を重ね、いろんな思いを持ち寄りながらも、久々の再会に皆時間を忘れ、話の花を咲かせる、楽しい会となりました。



会の冒頭では、残念ながら出席が叶わなかった物故者のお名前をお一人お一人読み上げて頂き、改めて同窓生としての心一つにして皆で黙祷をささげたことも、大変感慨深く思いました。青春時代の三年間を同じ学び舎で過ごした私たちのこの縁が、これから先も幾久しく続いていくようにと願わずにはおれません。ご後援いただきました、膳所高同窓会、ご出席の皆様、いつまでもおかわりのない先生方、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。(大場 玲子)

## 35周年記念同窓会

(膳所高30回 昭和57年卒業)

平成29年8月13日に昭和57年卒業生「混漢会」の35周

年同窓会を開催いたしました。琵琶湖ホテルを会場に恩師の先生方にも7名ご出席いただき、総勢110名と今回もノルマ(?)のうちで楽しいひと時を過ごすことができました。今回は初めて畳の部屋の椅子席。しかも1年生の時のクラスで座席をセッティング、1年生の時の話題に花が咲き大変盛り上がりしました。膳所高校の校舎が新しくなって10年以上たちます。できれば新校舎の見学もしたいという要望がたくさんあり、次回はそういったオプショナルもぜひ実現したいと思えます。ご出席くださった先生方、参加してくれた同級生の皆さん、今回は出席できなかったものの近況録に楽しいメッセージを寄せてくださった皆さん、チームワーク抜群の幹事会のメンバーの皆さん、そしていつもバックアップしてくださっている同窓会事務局の方々、すべての人たちに感謝を申し上げます。(齊田 俊彦)



## 30周年記念同窓会

(膳所高35回 昭和62年卒業)

新春の琵琶湖を臨む琵琶湖ホテル宴会場に、卒業30周年の記念同窓会として約100名の同窓生が1月2日に集いました。恩師の皆様におかれましては、新春のご多忙なところをご参加頂きましたこと厚く御礼申し上げます。

校歌斉唱に始まり、飛び入りの出し物もあり、くじ引きマイクリレーなど、皆様のご協力で盛会となりました。創立120周年記念事業の寄付金にも多数のご協力を頂きました。ありがとうございます。幹事の私個人の感想ですが、同窓生に勇気と刺激を頂き大変有難く思いました。

最後になりますが、この会の幹事役を快く引き受けて頂いた各位に御礼を申し上げます。次回は2023年の開催となります。心と体を健康に5年後に再会を誓って報告とさせていただきます。(世古 誠)



## 15周年記念同窓会

(膳所高50回 平成14年卒業)

2018年1月2日、リーガロイヤルホテル京都で、卒業15周年同窓会を開催させて頂きました。恩師7名含め総勢約120名の方々にご参加頂きました。久しぶりの再会に、開宴前から会話が花が咲き、楽しい声が聞こえてきました。乾杯の挨拶では当時学年

主任の奥村先生にお話を頂き、今となってもどこかピリツとした雰囲気になり、学生時代を思い起こさせて頂きました。中盤から1分間スピーチが催され、思い出、今だから言えること、ものまねなどが披露され、大変盛り上がりしました。15年前の事です、ついでこの間のこのように錯覚してしまうほど、懐かしい、楽しいひとときでした。

多くの皆さまと盛大な会を開催できたことを幹事一同大変喜ばしく思っています。また先生方におかれましては、正月三日のお忙しい中、ご参加頂き誠にありがとうございます。今回ご参加頂けなかった方は次回にぜひお会いできれば幸いに存じます。

(石川 真也)



## 10周年記念同窓会

(膳所高56回 平成20年卒業)

さる1月2日、卒業10周年同窓会を開催しました。参加者は、恩師の方々も含めて200名弱、賑やかな時間になりました。会場はホテルグランヴィア京都で5周年の時とまったく同じ。いざ会場の空気に触れてみると、あれから5年も経ったことが信じられないような、でも色々あるにはあったような...、皆さんどうお感じでしょうか。

この先、どのような「30代」を過ごしていくのでしょうか。今回お越しの方も、お越さない方も、また15周年・20周年同窓会などでお会いできればと思います。

(福井 恒誠)



## 5周年記念同窓会

(膳所高61回 平成25年卒業)

2018年1月2日、びわ湖大津プリンスホテルにて、卒業5周年同窓会を開催させていただきました。先生方9名と卒業生約270名が集う大変にぎやかな会となりました。

卒業して5年も経つと、やはりみんな全然違った道を進んでいるなど感じる一方で、旧友と話していると大変懐かしさを感じ、同じ時間を過ごした高校時代は大変貴重でかけがえのないものだったと強く感じました。



校歌斉唱時にはそのような高校時代の思い出がよみがえり、数多くの思い出がふけることができました。今後もそれぞれ大きく異なる道を進んでいくと思いますが、これからも高校時代の繋がりは大切にしていきたいと強く思われました。次回の記念同窓会でもそれぞれの今の話、そして懐かしい高校時代の話ができることを楽しみにしております。

(國松 拓実)

# 記念同窓会

## 尚歯会

(膳所中39回 昭和16年卒業)

膳所中学校39回卒業(昭和16年3月)の同窓会を、平成29年11月27日ホテルプライトンシティ京都山科で開催しました。

現在住者17名(卒業当時143名)のうち8名の出席があった。高年齢(94歳)の半数近くの出席となり、東京・島根等から元気な姿が見えた。

今まで膳所中・高校の同窓会で在籍者の半数近くの出席は聞いたことがないと聞く。

同窓会会長大崎悦男先生に申し上げたところ「同窓会の盛会を心からお喜び申し上げます」との挨拶状を出席者全員に戴き、参加者びつくり、一段と盛会になった。

(長谷川良治)



## 膳所中第四十三回(四卒)同窓会

(膳所中43回 昭和20年卒業)

去る平成29年10月19日、琵琶湖ホテルで同級会の集いをした。今年で卒業以来72年になる。今回の出席者は17名で、年毎に減ってゆくの寂しいが、もうみんな米寿を過ぎた年齢であるから止むを得ない。定刻、記念写真撮影のあと懇親会となる。司会の三輪滋夫君からこの一年間の物故者5名の披露のあと黙祷を捧げ、冥福を祈った。次いで世話人代表の早瀬君が挨拶されたが、その中で、来年即ち平成30年が創立120周年になるので種々の記念活動が行われる。ついで、その行事の主旨の伝達と募金活動への協力を同窓会事務局のほうから依頼された旨披露された。同窓会の関係の方は既に活動中で、会報「JUNGIDO」に概要の記事があるとのことであった。

続いて3つのテーブルでの会食、懇談に移ったが、参加者は顔を合わせると思いは膳中でのあの時代にタイムスリップする。通学していた昭和16年からの4年間は正味の戦中での特殊な環境でもあり、話に花を咲かせていた。各地区小集団毎での登校、戦闘帽にゲートル着用で鉄打ちの編み上げ靴、奉安殿遙拝、木造校舎、学期毎の試験成績順の貼り出し発表とそれで変わる席順や名物の先生達、体操、教練、武道の先生達の巣であった生徒監、銃器庫、運動部での上級生の厳しい指導や学外では安土の中ノ湖干拓の土木作業で泊まりがけの集団生活、農家への稲刈り援農奉仕、草津の競馬場にあった陸軍の物資の整理作業等々。いつまでも語られる話題である。会の半ばでは上田和夫君のシャンソン歌唱と、その前座に垣見のクロマチックハーモニカ演奏があり、終わりにはみんなで琵琶湖周航の歌、ならびに膳中校歌を斉唱したり部屋のガラス越しに小雨で霞んでいる湖面を小舟がゆったり渡っていた。

(垣見 昇)



## 旧大津高校卒業67周年同期会

(大津高1回 昭和25年卒業)

私達は軍事教練や竹槍訓練でしごかれた最後の学年で、八十歳半ばを過ぎましたが、去る十月二十日、これが最後になるかもしれない同期会を行いました。男子は半数以上、女子は三分の一が死亡し、生残者の多くが体調を崩し、歩行困難のために、出席者は五十人と少なく、淋しい集いでしたが、北朝鮮のミサイル発射で暗雲が漂う国際情勢に、戦争の再発を懸念し、戦争中、戦後の学校生活を顧みながら歓談した一日でした。

(高橋 勉)



## 還暦記念同窓会

(膳所高23回 昭和50年卒業)

平成29年6月17日、還暦記念同窓会が雄琴温泉「里山昔話雄山荘」で開催され全国から129名の同窓生が集った。一次会の始まりは実行委員長白川正大君の挨拶。鬼籍に入った恩師や同窓生たちの冥福を心から祈る。久保公人君のユーモアあふれる乾杯の音頭の後、杉原(山元)裕子さんの篠笛、上田泰史君のマンドラテノール、小林(清水)初子さんのクラリネットの美しい音色に聴き入った。

杯を重ね美味しい料理に舌鼓しながら笑い絶えない。朝からゴルフコンペに参加した同窓生の表彰の後、最高に盛り上がったのが「よきこいの踊り」。川崎(和歌山)敦子さんのリードで20名が鳴子を鳴らしながらよきこいを披露、「琵琶湖周航の歌」と校歌を大合唱し一次会を終えた。

二次会は「ハンドベル」を奏でるグループが迎え、豪華賞品が当たるビンゴゲームに酔いしれ、後藤邦夫君と林重樹君の「おやじバンド」の弾き語りで高校時代に口ずさんだ歌を再び大合唱。この後同窓生62名が宿泊した。翌日の企画が「びわ湖巡りクルーズの旅」。76名を乗せた「リオ・グランデ号」は大津港を出港した。風もなかく波もおだやか。沖の島に上陸した後、沖の白石をぐるりと一回り。多景島と竹生島に足を運び心に残る時を過ごした。途中、白髭神社の鳥居を湖側から参拝し楽しい船旅に感謝、これからの仲間たちとついでとも健康で楽しい時間が持てるようにと祈り、一日を締めくくった。

(姜(姜山)永根、木野(藤井)智子)



## 昭和61年卒業生同窓会

(膳所高34回 昭和61年卒業)

平成30年1月2日、びわ湖大津プリンスホテルにて、昭和61年卒業生同窓会を挙行了いたしました。卒業以来、学年全体での同窓会は初めてということもあり、200名近くの同窓生が集まることができました。また12名の懐かしい先生方にもお越しいただくことができました。卒業以来初めて再会したメンバーも多数おり、中には名札なしでは分からないほど変わってしまったり友も数名発見出来ました。が、それでも当時の思い出に花を咲



かせ始めると、過ぎた年月もなんのその。タイムマシンに乗ったかのように、一気に高校生に逆戻りすることができました。久方ぶりにお出会いする先生方のお元氣そのな笑顔に接することもでき、本当にうれしく思いました。何十通ものお礼のメールをいただき、今回の大同窓会の幹事冥利に尽きる思いです。卒業以来三十年間、友に助けられてお返しに少し役に立てたかなという喜びを感じております。今回、残念ながら参加できなかった友や先生方からは、次回ぜひ！というリクエストも頂戴しておりますので、代表幹事を世古君に譲って五年後に再度の招集をかけたかと考えております。その折にはまた必ずご出席いただきたいというのが私の願いであります。

なお、当日撮影した集合写真はインターネットでご覧いただけます。そちらもぜひ覗いてみてください。

(今村拓也)

## 成人式同窓会

(膳所高校64回 平成28年卒業)



平成30年1月8日に成人式があり、同窓会を行いました。

参加者は生徒が360人、先生方が9名の合計369人で、かなり大きな規模の会になりました。

内容はよくあるようなもので、挨拶・乾杯に始まり余興をはさみつつ歓談の時間を取り、最後に集合写真という流れでした。時間の管理が甘かったせいで閉会の挨拶ができなまま解散になってしまいました。参加して下さった皆さんにこの場を借りてお詫び申し上げます。

懐かしい友人たちと、お互いの近況報告や他愛もない話をしたり、ちよっとお酒を飲みすぎたりと、皆さんそれぞれ楽しんでいました。

これからの同窓会も多くの人が出席するような、そんな学年になっていきたいですね。

次は、最後の挨拶まで行けるように努めます！

改めて、先日の同窓会へのご参加、ありがとうございました。

(小川竜馬)

## 膳所高校9回関東会

(膳所高校9回 昭和36年卒業)

関東在住の同級生約70名に呼び掛け、2017年5月20日12時半より3時半まで、横浜ベイシィェラトン ホテル&タワーズ、7階フアンクシヨナルーム「サンフラワー」にて、学年同窓会を開催し、23名の参加を得ました。

うち2名は大阪からの参加でしたが、1年半毎の開催で4回目ともなると、顔触れも固まってきたので、集まる早々からの談論風発、最後まで変わらぬ盛り上がりでした。

今までの幹事団は、膳所高校の女性生徒会長として我々同級生の誇りだった伊藤光江(旧姓中村)さんを代表としてきましたが、誠に残念なことに彼女は一昨年秋の大阪での学年同窓会で多くの同級生仲間と無言の別れをしたその直後に亡くなり、今回は残る4名での挙行となりました。

しかしながら、今回のプランは、伊藤代表のアイデアにより、近くの関東有数のローズ・ガーデンの薔薇の満開時期に合わせて設定したもので、幹事団は丁度一年前に下見の花見も行ったのでしたが、あえなくも代表を欠いての本番となってしまったという、忘れられない同窓会になりました。

なお、当日会費の残金は、膳所高校創立120周年事業にわずかではありますが、寄付させていただきました。

(中嶋賢二)



## 周年記念同窓会 予告

### 60周年傘寿記念同窓会

日時 平成30年6月8日(金)  
場所 琵琶湖ホテル  
会費 10,000円  
連絡先 浅田幸作(TEL077-537-4651)  
※詳細案内は4月初旬にお送りします。

### 50周年記念同窓会

日時 平成30年5月10日(木) 12時受付13時開宴  
場所 ビアンカ(琵琶湖汽船)  
会費 10,000円  
連絡先 前川忠嗣(TEL090-3351-3081)  
常諾真教(TEL077-589-2702)

## 40周年記念同窓会

(膳所高校26回 昭和53年卒業)

日時 平成30年8月11日(土)  
場所 琵琶湖ホテル  
連絡先 秋山(居嶋)洋子  
(TEL077-526-3648)  
※その他：詳細については案内状を郵送します

## 30周年記念同窓会

(膳所高校36回 昭和63年卒業)

日時 平成30年11月24日(土)  
場所 びわ湖大津プリンスホテル  
会費 10,000円(予定)  
連絡先 村木康弘(TEL077-531-0666)  
※詳細は夏頃ご案内いたします

## 20周年記念同窓会

(膳所高校47回 平成11年卒業)

日時 平成31年1月2日(水) 11時~14時  
場所 びわ湖大津プリンスホテル  
連絡先 月形(山岡)鈴香  
Mail: 1997zeze@gmail.com

## 10周年記念同窓会

(膳所高校57回 平成21年卒業)

日時 平成31年1月3日(木) 12時開始  
場所 びわ湖大津プリンスホテル  
連絡先 羽田晃輔(TEL080-5349-8909)  
Mail: 29a1306@gmail.com  
※その他：2018年8月頃に各クラスの同窓会幹事から郵便等で連絡する予定です。もし、連絡がなく参加希望の際は、気軽に羽田まで直接連絡ください。

## 5周年記念同窓会

(膳所高校62回 平成26年卒業)

日時 平成31年1月2日(水) 13時~16時(予定)  
場所 びわ湖大津プリンスホテル  
連絡先 今村大智(TEL090-6238-9983)

## 新成人記念同窓会

(膳所高校65回 平成29年卒業)

日時 平成31年1月14日(月) 予定  
場所 未定  
連絡先 柴 悠人(TEL090-2048-8288)

## 同窓会事業のご案内

◆第23回(平成30年度)ゴルフコンペ

とき 平成30年9月17日(月・祝)

ところ メイプルヒルズゴルフクラブ 甲賀市信楽町田代65  
TEL0748-82-3800

スタート時間 8時00分アウト・イン同時スタート

申込×切後各自で集合時間及び組み合わせ表を追って通知します。

ダブルバーニア方式による18ホールストロークプレー

競技方法

当日会費 18,000円(予定)但しメンバーシテは別料金

募集人数 30組 150名

定員に達し次第切替します。

## ◆第4回会員交流会

「わくわく関西国際空港見学と堺市探訪」

とき 平成30年6月16日(土)

ところ 関西国際空港と堺市「さかい利昌の杜」

集合時間 JR大津駅 7時45分集合

大津駅に帰着は午後5時30分を予定しています。

参加費 5,000円(当日に徴収します)

募集人数 36人程度

連絡先 同窓会事務局  
(TEL077-524-4295)

・定員に達し次第、締切りとします。

## 事業部会報告

素敵な出会いと学びの場

◆第3回 初夏の会員交流会報告

今回、高校2年生のクラスメイト女子6名と共に、初めて参加させていただきました。旧友たちとの再会に加え、普段あまり足を運ぶことのない名古屋への旅とあって、とても楽しみにしていました。

当日は、「フリタケの森」、「徳川美術館」、「トヨタ産業技術記念館」を見学させていただきました。どれも初めて訪れる場所で、それぞれの展示品を興味深く見て回りました。特に心に残っているのが、近年、工場見学の中でも人気急上昇となっている「トヨタ産業技術記念館」です。トヨタと言えば、真っ先に浮かぶのが自動車ですが、前身は自動織機だということを今回初めて知りました。場内ではオペレーターによる実演や映像、ボタン操作など、トヨタの技術を手と目と耳で楽しむことができました。時間が足りないうらいでした。友と一緒にいたへん充実した楽しい一日を過ごすことができました。

このような企画をして下さった膳所高校同窓会事務局の皆様へ感謝いたします。また機会があればぜひ参加したいと思っております。ありがとうございました。

(昭和57年卒 大橋佳寿代)



## ◆第22回 ゴルフコンペ(参加126名) 平成29年9月18日(祝)

開催を決定したものの、台風18号のスピードと進路にヤキモキしました。当日は一時的な雨はありましたが、まずまずの天候で、35組126名の皆様がプレーに臨まれました。

最高齢は昭和30年卒の6名様、お元気です。

個人優勝は坂口義嗣様(昭和41年卒)団体優勝は昭和41年卒様飛び賞、特別賞など総数44個の賞品が準備されており、懇親会は大いに盛り上がりました。

今年度は懇親会開始までのフリートークで談論風発、さすが「石鹿健児」ここにあり。色々なご意見ありがとうございました。次回からの運営に生かさせていただきます。



# 平成29年度同窓会会務・会計報告・平成30年度同窓会総会提出議案

## ◆平成29年度 同窓会会務報告

### 2017年(平成29年)

- 4月 20日 平成28年度同窓会会計監査(同窓会事務局)
- 24日 役員選考委員会
- 15日 JUNGIDO第34号発行(26,866部発送)
- 5月 12日 第1回役員会
- 21日 平成29年度同窓会総会(ピアンカ) 107名参加
- 6月 17日 第2回役員会(あみ定)
- 24日 第3回会員交流会(初夏の尾張・名古屋を訪ねて) 36名参加
- 7月
- 8月 13日 昭和57年卒35周年記念同窓会(琵琶湖ホテル) 118名参加
- 9月 10日 昭和42年卒50周年記念同窓会(びわ湖大津プリンスホテル) 170名参加
- 11日 第3回役員会(同窓会事務局)
- 18日 第22回ゴルフコンペ(メイプルヒルズゴルフ倶楽部) 140名参加
- 10月 10日 昭和32年卒60周年記念同窓会(ピアザ淡海) 73名参加
- 20日 臨時役員会(同窓会事務局)
- 21日 昭和37年卒55周年記念同窓会(琵琶湖ホテル) 90名参加
- 28日 同窓会常任理事会(膳所高校大会議室)
- 11月 16日 会費納入再度のお願い
- 17日 昭和23年卒70周年記念同窓会(ホテルボストンプラザ草津) 26名参加
- 25日 第1回広報部会 JUNGIDO第35号編集会議

12月 29日 昭和52年卒40周年記念同窓会(京都ホテルオークラ)

### 2018年(平成30年)

- 1月 2日 昭和61年卒30周年記念同窓会(びわ湖大津プリンスホテル)
- 2日 昭和62年卒30周年記念同窓会(琵琶湖ホテル) 100名参加
- 2日 平成14年卒15周年記念同窓会(リーガロイヤル京都) 120名参加
- 2日 平成20年卒10周年記念同窓会(ホテルグランヴィア京都) 198名参加
- 3日 平成25年卒5周年記念同窓会(びわ湖大津プリンスホテル) 280名参加
- 8日 平成28年卒新成人記念同窓会(びわ湖大津プリンスホテル) 369名参加
- 21日 第4回役員会(同窓会事務局)
- 27日 第2回広報部会 JUNGIDO第35号編集会議
- 2月 1日 第5回役員会(あみ定)
- 10日 第3回広報部会 JUNGIDO第35号編集会議
- 24日 平成29年度同窓会理事会(膳所高校大会議室)
- 28日 同窓会入会式
- 3月 1日 第66回膳所高校卒業式(平成29年度)
- 10日 第4回広報部会 JUNGIDO第35号編集会議
- 25日 第5回広報部会 JUNGIDO第35号編集会議

## ◆平成29年度 同窓会会計中間報告(H29.4.1~H30.1.31)

### 一般会計 《収入の部》

| 項目           | 予算額        | 決算額        | 差額        | 備考                 |
|--------------|------------|------------|-----------|--------------------|
| 前年度繰越金       | 1,732,269  | 1,732,269  | -         |                    |
| 前受会費(29年度分)  | 3,524,000  | 3,524,000  | -         | 会費会計より振替           |
| 当年度会費        | 3,520,000  | 3,248,000  | 272,000   | 会費会計より振替           |
| 同窓会入会金       | 1,323,000  | 0          | 1,323,000 | 新規卒業生用入会金 3,000円/人 |
| 名簿会計より繰入     | 2,000,000  | 2,000,000  | -         |                    |
| 特別会費及び雑収入・利息 | 60,000     | 38,717     | 21,283    | 受取利息、トップシール代等      |
| 合計           | 12,159,269 | 10,542,986 | 1,616,283 |                    |

(単位 円)

### 会費会計 《収入の部》

| 項目         | 金額         | 備考       |
|------------|------------|----------|
| 前受会費繰越金    | 8,812,000  | 28年迄の前受金 |
| 平成29年度会費   | 3,248,000  | 当年度分     |
| 平成29年度前受会費 | 3,398,000  | 30年以降の会費 |
| 合計         | 15,458,000 |          |

### 《支出の部》

| 項目         | 金額        | 備考         |
|------------|-----------|------------|
| 平成29年度会費   | 3,248,000 | 当年度分の会費    |
| 平成29年度前受会費 | 3,524,000 | 28年迄の前受金から |
| 合計         | 6,772,000 |            |

差引現在残高 8,686,000(15,458,000-6,772,000)

一般及び会費会計現在残高 10,050,137

一般会計現在残高 会費会計現在残高 = 10,050,137  
1,364,137 + 8,686,000

### 名簿会計 《収入の部》

| 項目     | 金額        | 備考                         |
|--------|-----------|----------------------------|
| 前年度繰越金 | 4,192,909 | 2,500,000(定期)1,692,909(普通) |
| 名簿売上金  | 12,000    |                            |
| 利息     | 223       |                            |
| 合計     | 4,205,132 |                            |

### 《支出の部》

| 項目      | 金額        | 備考 |
|---------|-----------|----|
| 残高証明手数料 | 324       |    |
| 一般会計へ振替 | 2,000,000 |    |
| 合計      | 2,000,324 |    |

差引現在残高 2,204,808

### 《支出の部》

| 項目         | 予算額        | 決算額       | 差額        | 備考               |
|------------|------------|-----------|-----------|------------------|
| 総会費        | 720,000    | 508,353   | 211,647   |                  |
| 会議費        | 150,000    | 83,374    | 66,626    | 理事会、役員会          |
| 交際費        | 30,000     | 11,318    | 18,682    |                  |
| 通信費        | 700,000    | 658,119   | 41,881    | 総会・理事会はがき・電話等    |
| 旅費交通費      | 100,000    | 36,440    | 63,560    | 役員会他             |
| 支払手数料      | 250,000    | 182,732   | 67,268    | 会費納入、振込手数料       |
| 雑給与        | 1,400,000  | 1,189,040 | 210,960   |                  |
| コンピューター関係費 | 50,000     | 16,200    | 33,800    | 同窓会システムソフト費用     |
| ホームページ運用費  | 64,800     | 64,800    | -         | サーバー運営費等         |
| 事務用品費      | 70,000     | 35,706    | 34,294    | コピー用紙他           |
| 備品・消耗品費    | 220,000    | 85,320    | 134,680   | PC・プリンター関係等購入品   |
| 広報発行費      | 1,150,000  | 1,021,135 | 128,865   | JUNGIDO34号発行     |
| 広報発送費      | 2,000,000  | 1,874,198 | 125,802   | 広報封入封緘、郵送料他      |
| 学校助成金      | 1,000,000  | 1,000,000 | -         | 京大特別講座助成他        |
| 班活動奨励金     | 1,100,000  | 1,200,000 | -100,000  | 全国大会参加費助成他       |
| 慶弔費        | 100,000    | 0         | 100,000   | 香典、供花            |
| 周年同窓会祝い金   | 600,000    | 490,000   | 110,000   | 周年同窓会補助金内規による    |
| 各部会費       | 800,000    |           |           |                  |
| 広報部会費      |            | 12,764    |           | 関係事務ソフトコピー・会費徴収他 |
| 事業部会費      |            | 554,602   | 77,886    |                  |
| 総務部会費      |            | 154,748   |           |                  |
| 予備費        | 1,654,469  |           | 1,654,469 |                  |
| 合計         | 12,159,269 | 9,178,849 | 2,980,420 |                  |

差引現在残高 1,364,137 (12,159,269-9,178,849)

### 特別会計 《収入の部》

| 項目     | 金額      | 備考                                    |
|--------|---------|---------------------------------------|
| 前年度繰越金 | 751,114 |                                       |
| 寄付金    | 159,000 | 127,000(10周年同窓会より)、30,000(60周年同窓会より)等 |
| 利息     | 1       |                                       |
| 合計     | 910,115 |                                       |

《支出の部》 残高証明手数料 324

差引現在残高 909,791

## ◆同窓会財産目録(H30.1.31現在)

### I 一般会計及び会費会計 合計

|                                |                      |  |  |
|--------------------------------|----------------------|--|--|
| ◇郵便局                           | ◇滋賀銀行                |  |  |
| 郵便振替 1口 802,058円               | 本店 普通預金 592,826円     |  |  |
| 郵便貯金 1口 1,034,867円             | 膳所支店 普通預金 1,081,166円 |  |  |
| 定額貯金 1口 6,022,000円             |                      |  |  |
| ◇関西アーバン銀行 びわこ営業部 普通預金 427,388円 | 計 10,050,137円        |  |  |
| ◇事務室現金 89,832円                 |                      |  |  |

### II 特別会計

|                          |            |
|--------------------------|------------|
| ◇滋賀銀行 膳所支店 普通預金 909,791円 | 計 909,791円 |
|--------------------------|------------|

### III 名簿会計

|                      |              |
|----------------------|--------------|
| ◇滋賀銀行 膳所支店 定期預金 0円   | 計 2,204,808円 |
| 膳所支店 普通預金 2,204,808円 |              |

## ◆平成30年度 予算(案)

(H30.1.31現在)

### 一般会計 《収入の部》

| 項目           | H30年度予算案   | H29年度予算    | 備考                 |
|--------------|------------|------------|--------------------|
| 前年度繰越金       | 2,174,499  | 1,732,269  |                    |
| 前受会費(30年度分)  | 3,425,000  | 3,524,000  |                    |
| 当年度会費        | 3,200,000  | 3,520,000  |                    |
| 同窓会入会金       | 1,300,000  | 1,323,000  | 新規卒業生用入会金 3,000円/人 |
| 名簿会計より繰入     | 2,000,000  | 2,000,000  |                    |
| 特別会費及び雑収入・利息 | 30,000     | 60,000     | 受取利息、トップシール代等      |
| 合計           | 12,129,499 | 12,159,269 |                    |

### 《支出の部》

| 項目         | H30年度予算案   | H29年度予算    | 備考                 |
|------------|------------|------------|--------------------|
| 総会費        | 700,000    | 720,000    | 理事会(毎年8月9日開)、役員会   |
| 会議費        | 150,000    | 150,000    | 理事会、役員会            |
| 交際費        | 30,000     | 30,000     |                    |
| 通信費        | 700,000    | 700,000    | 総会・理事会はがき、電話・印刷関係等 |
| 旅費交通費      | 50,000     | 100,000    | 役員会他               |
| 支払手数料      | 230,000    | 250,000    | 会費納入、振込手数料         |
| 雑給与        | 1,400,000  | 1,400,000  |                    |
| コンピューター関係費 | 25,000     | 50,000     | 同窓会システムソフト費用       |
| ホームページ運用費  | 64,800     | 64,800     | サーバー運営費等           |
| 事務用品費      | 50,000     | 70,000     | コピー用紙、事務用品他        |
| 備品・消耗品費    | 220,000    | 220,000    | PC・プリンター関係等購入品     |
| 広報発行費      | 1,150,000  | 1,150,000  | JUNGIDO35号発行       |
| 広報発送費      | 2,000,000  | 2,000,000  | 広報封入封緘、郵送料他        |
| 学校助成金      | 1,000,000  | 1,000,000  | 京大特別講座助成他          |
| 班活動奨励金     | 1,100,000  | 1,100,000  | 全国大会参加費助成他         |
| 慶弔費        | 50,000     | 100,000    | 香典、供花              |
| 周年同窓会祝い金   | 600,000    | 600,000    | 周年同窓会補助金内規による      |
| 各部会費       | 800,000    | 800,000    |                    |
| 予備費        | 1,809,699  | 1,654,469  |                    |
| 合計         | 12,129,499 | 12,159,269 |                    |

## 平成30年度 事業計画(案)

同窓会員相互の交流・親睦、教養の向上を図るとともに、一環として母校に対する支援・協力の諸事業を行います。

特に、私たちの母校は本年5月に創立120周年を迎え11月に記念式典が挙行されます。120周年に関連する事業等が円滑に実施できるよう、母校に協力してまいります。

また120周年に合わせ、記念祝賀会の開催、「会員名簿」の発行などを実施します。

- 総務部会 定例総会・理事会の開催や役員会等が必要に応じ開催します。母校との連携・協力を積極的に推進するとともに、各部会への協力、支援を行います。
- 財務部会 母校の創立120周年を迎え、創立120周年記念寄付金(記念事業、教育環境整備事業等)の目標額達成に向け、会員等からの支援による基金徴収に努めます。
- 事業部会 総会時の講演会・懇親会の開催、各学年の周年同窓会への協力、ゴルフ大会・研修旅行等の交流会の開催を通じて、同窓会活動の活性化に努めます。また、学校後援会活動、文化班・体育班活動の奨励に努めます。
- 広報部会 母校の情報発信や同窓生相互の交流を図るため、年度初の4月に、同窓会広報紙「JUNGIDO」を発行します。会員と母校とを繋ぐ、充実した紙面作りに努めます。また、同窓会ホームページを通して、120周年記念事業の啓発を始め、広報活動の充実を図ります。
- 事務局 会員との情報交流、周年同窓会への支援援助年会費の徴収、年会費未納者への依頼地域、職域の組織づくり、体育班・文化班OB会の支援同窓会ホームページのコンテンツ管理120周年記念実行委員会事務局

ホームページアドレス  
<http://www.dosokai.link/zezekoukou>  
メールアドレス  
[zeze-h-dousoukai@poem.ocn.ne.jp](mailto:zeze-h-dousoukai@poem.ocn.ne.jp)

## 滋賀県立膳所高校同窓会

### 年会費納入のお願い

平成30年度会費を同封の振替用紙にてご納入いただきますようお願いいたします。振替用紙が入っていない方は会費を前納されている方です。

会費は年額2,000円となっておりますが、5年(10,000円)、まとめてご納入いただければ幸いです。

〔納入機関〕 郵便局 01010-3-30378  
(振替用紙は共通です。) 銀行 滋賀銀行本店 普 913381  
関西アーバン銀行 びわこ営業部 普 335940



いずれも名義は、滋賀県立膳所高校同窓会 会長 大崎 悦男 です。

※新卒の同窓生は、卒業後4年間は卒業時に納入する入会金3,000円のみで、卒業後5年目から会費納入をお願いしています。

※ご住所等に変更がある場合は振替用紙にその旨をご記入下さい。(総務部会)

ご理解とご協力をよろしく  
お願いいたします。

# 第66回卒業式

平成30年3月1日、春らしい柔らかな日差しの中、本校体育館において「第66回卒業証書授与式」が行われました。普通科390名、理数科39名、計429名の生徒が、新たに膳所高等学校から旅立ちました。

式典は、大崎同窓会長をはじめ、東郷同窓会総務部会長、本校元校長の浅田先生、西岡先生、前校長の草野先生、父母教師の会の田中会長、庄田副会長、大林副会長、また成田県議会議員を来賓に迎え、在校生（2年生全員、1年生各クラス代表2名）、教職員とともに、多くの保護者の出席のもと盛大に挙行されました。

川上昌道校長は式辞の中で、「異なる価値観や文化を理解し、より多くの人とつながり、互いの絆を大切に、希望に満ちた明るい未来を創り上げてください。」と卒業生を激励されました。

「卒業生の言葉」では、代表の青野瑞希さんが、3年間の学校生活を振り返り、これからの人生へ向けて決意を述べ、バトンを2年生へと渡されました。

その後、卒業生は、代末奈菜さんの伴奏のもと「旅立ちの日に」を合唱し、式場の皆さんの大きな拍手の中、式場をあとにしました。

また、これに先立ち2月28日には、同窓会入会式が行われ、大崎会長の歓迎の言葉、そして新しい理事の紹介のあと学年代表理事の西居明花さんが、「入会の言葉」を述べ、卒業生には「同窓会パッセージ」が贈られました。



## 新入会員



「認め合う」

平成30年3月卒業

米田 航大

膳所高校では、価値観の合う仲間と沢山出会えました。中でも、物事に対して真剣に取り組む友を素直に尊敬し信頼する風潮があった、ということが本当に幸でした。努力することに胸を張れるということは当たり前のように実は貴重なこと

# 班活動報告

## 2017年度 全国レベルの大会結果

**野球**  
第90回記念選抜高等学校野球大会出場（21世紀枠）  
陸上競技  
インターハイ200メートル 準決勝4位 向山理一郎  
日本ユース選手権出場男子100メートル 古川明世  
女子800メートル 佐藤更彩

**ラグビー**  
第4回全国7人制大会 予選1プール40対7で高松北に勝利  
12対17で日川に惜敗し、プール2位  
プレイトーナメント5対56で佐賀工に敗退

**ボート**  
全国高等学校総合体育大会  
女子シングルスカル 準々決勝進出 北川知世  
国民体育大会  
女子舵手付きクワドルブル 準決勝敗退

**ヨット**  
JOCジュニアオリンピックカップ  
レーザ4・7級 総合3位 女子1位  
ユース世界選手権大会 レーザ4・7クラス 出場  
国民体育大会  
少年女子レーザ4級 3位 須田英美子

**山岳**  
全国高等学校総合体育大会  
A隊 男子団体8位 大垣瑞生・竹内文人・中平幸輝・家木力

**書道**  
第41回全国高等学校総合文化祭宮城大会  
特別賞・賞公賞（出品300点中16〜20位） 福井貴瑛  
第14回安芸全国書展高校大会  
書道美術賞 森河千琴 吉田愛  
第48回近江神宮全国献書大会  
近江神宮司賞（高校の部第一席） 福井貴瑛  
滋賀県町村会長賞 湯木貴子  
東近江市市長賞 尾副咲月

**かるた**  
第39回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会  
団体戦3位 原あかり・宮岸鈴奈・若野綾子・石田みのり・徳川友梨・増田樹・杉井誠也・隠岐和輝  
第13回全国高校生かるたグランプリ  
団体戦7位 杉井誠也・西山歩那・隠岐和輝・井上雄貴・堀貴起・寺本大輝・山下未夢・土井秋穂

**弁論**  
第41回全国高等学校総合文化祭 弁論部門 県代表 大森鈴花  
第22回全国中学・高校ティーンズ選手権大会 ベスト16  
梅田利奈・平賀敦也・中西祐希・福田京司・藤井優斗・山本未羽

**文芸**  
第41回全国高等学校総合文化祭出場  
写真  
第41回全国高等学校総合文化祭出品 鹿島綾乃  
合唱  
第41回全国高等学校総合文化祭宮城大会 県合同合唱団の一員として出場 武久芽唯・瀧尾萌香

**音楽**  
第11回音楽アンサンブルコンテスト全国大会出場  
美術  
第41回全国高等学校総合文化祭宮城大会出品 鶴来香穂  
平成30年度全国高等学校総合文化祭出品決定  
生物  
平成29年度全国高等学校総合文化祭出場  
物理地学  
平成29年度全国高等学校総合文化祭出場  
放送  
NHK杯全国放送コンテスト アナウンス部門出場 青野瑞希  
創作テレビドラマ部門出場  
平成30年度全国高等学校総合文化祭出場  
全国高等学校文化連盟賞 清水はづき

**スキー**  
全国高等学校総合体育大会  
国民体育大会 ジャイアントスラローム出場 市村菜々香  
日本数学オリンピック  
全国大会出場 森島樹  
国際生物学オリンピック  
銀メダル 佐藤源気

**科学の甲子園**  
第7回科学の甲子園全国大会出場  
大谷尚輝・福田一帆・池野敦浩・武内慎志・中西奏太・吉田伊吹・川崎聡・石田早樹梨

お互いを認め合うという良い雰囲気は、最大のイベントである湖風祭にも表れていました。やはり湖風祭の魅力は学年の違うクラスの仲間たち、そして先生方が一体となり、一つのブロックとなつて祭を作り上げていくことでしょうか。中には、表に出たいという人や、目立つことが苦手な人もい

だと思えます。そのような環境にあるからこそ、多くの人が勉強や班活動に思う存分情熱を注いだのではないかと思います。評判通り、膳所高校での勉強と班活動の両立はハードでしたが、それを乗り越えて来られたのはそのような環境で友人と認め合いながら頑張ることができたからだと思っ

# サクラサク！

## 主要大学合格者数

| (主な国立大学) |     |         | (主な私立大学) |         |      |
|----------|-----|---------|----------|---------|------|
| 北海道大     | 7名  | 鹿児島大    | 1名       | 愛知工業大   | 2名   |
| 東北大      | 1名  | 琉球大     | 1名       | 豊田工大    | 1名   |
| 筑波大      | 5名  | 首都大東京   | 2名       | 南山大     | 1名   |
| 千葉大      | 2名  | 岐阜県立大   | 3名       | 名城大     | 1名   |
| 東京海洋大    | 1名  | 滋賀県立大   | 5名       | 京都外大    | 4名   |
| お茶の水女子大  | 1名  | 京都府立大   | 10名      | 京都産業大   | 13名  |
| 東京大      | 4名  | 京都府立医大  | 4名       | 京都造形芸大  | 2名   |
| 東京工大     | 2名  | 大阪府立大   | 10名      | 京都都立大   | 5名   |
| 東京農工大    | 1名  | 大阪府立大   | 19名      | 京都都立大   | 26名  |
| 横浜国立大    | 2名  | 兵庫県立大   | 1名       | 京都都立大   | 191名 |
| 新潟大      | 1名  | 和歌山県立医大 | 1名       | 同志社大    | 25名  |
| 富山大      | 2名  | 国際医療福祉大 | 1名       | 同志社女子大  | 5名   |
| 静岡大      | 3名  | 自治医大    | 1名       | 立命館大    | 288名 |
| 金沢大      | 5名  | 獨協大     | 1名       | 龍谷大     | 44名  |
| 信州大      | 2名  | 神田外語大   | 1名       | 京都美術工芸大 | 2名   |
| 岐阜大      | 5名  | 青山学院大   | 1名       | 大阪医大    | 3名   |
| 浜松医大     | 2名  | 学習院大    | 1名       | 大阪工大    | 9名   |
| 名古屋大     | 7名  | 慶応大     | 9名       | 大阪産大    | 2名   |
| 名古屋工大    | 4名  | 国際基督教大  | 1名       | 大阪薬大    | 9名   |
| 福井大      | 3名  | 芝浦工大    | 1名       | 大阪大谷大   | 1名   |
| 三重大      | 2名  | 順天堂大    | 1名       | 関西大     | 40名  |
| 滋賀大      | 13名 | 上智大     | 3名       | 関西医大    | 1名   |
| 滋賀医大     | 10名 | 女子美大    | 1名       | 関西外大    | 8名   |
| 京都大      | 61名 | 大正大     | 1名       | 近畿大     | 18名  |
| 京都教育大    | 2名  | 多摩美大    | 1名       | 摂南大     | 10名  |
| 京都工芸繊維大  | 19名 | 中央大     | 1名       | 大和大     | 1名   |
| 大阪大      | 41名 | 東京音大    | 1名       | 関西学院大   | 7名   |
| 大阪教育大    | 5名  | 東京農大    | 1名       | 甲南大     | 1名   |
| 神戸大      | 29名 | 東京理大    | 10名      | 神戸芸術工科大 | 3名   |
| 奈良女子大    | 4名  | 日本大     | 1名       | 神戸薬大    | 6名   |
| 鳥取大      | 3名  | 日本体育大   | 1名       | 兵庫医大    | 3名   |
| 島根大      | 1名  | 法政大     | 2名       | 武庫川女子大  | 1名   |
| 岡山大      | 2名  | 明治大     | 7名       | 岡山理大    | 1名   |
| 広島大      | 7名  | 立教大     | 3名       | 立命館アジア大 | 2名   |
| 愛媛大      | 1名  | 早稲田大    | 28名      | (その他)   |      |
| 高知大      | 1名  | 神奈川大    | 1名       | 岐阜市立女短  | 1名   |
| 九州大      | 2名  | 金沢医大    | 1名       | 防衛大学校   | 4名   |
| 長崎大      | 1名  | 金沢工大    | 1名       | 海上保安大学校 | 1名   |
| 大分大      | 1名  | 愛知医大    | 1名       | 日本航空大学校 | 1名   |
|          |     |         |          | HAL大阪   | 1名   |

## 編集後記

大遠征を迎えた母校。先輩たちの築かれた歴史・功績の重みを感じながら新たな歴史をつくる門出の年です。本稿では120周年、班活動の活躍に紙面を取り、お詫びいただいた原稿のすべてを掲載できませんでしたが、お詫びいたします。編集への同窓各位のご協力にお礼申し上げますと共に、今後もご支援いただきますようお願いいたします。

- 上野滋子(東2)・浅田幸作(膳6)・松村暢江(膳10)
- 東郷重明(膳15)・卯田重子(膳16)・藤原陽子(膳16)
- 新川均(膳16)・護法良憲(膳19)・岡澤則子(膳26)
- 堀井美香(膳33)・雲恭子(膳33)・増井詠子(膳36)
- 坂下覚(総務)